

女神岳と鼻見城山 山行報告

- <山 域> 長野県北部
<日 時> 2月3日(土)~4日(日)
<コース> 1日目 別所温泉大湯駐車場~女神岳~大湯駐車場
2日目 苔翁寺(せんおうじ)~鼻見城山~苔翁寺
<天 候> 両日とも晴れ
<参加者> CL大木、SL柘植、竹下(会員外)、澤田淳(記録)

○1日目 別所温泉 女神岳



大木さんより元会員の竹下さんと温泉付きの雪山ハイクに行こうとお誘いがあり、馬曲温泉梨の木荘に宿泊して、里山ハイクに行く計画を立ててもらった。山は柘植さんが見つけてくださり、千葉市の我が家を出発する。別所温泉の共同浴場大湯の無料駐車場はすぐに見つかり、10時10分スタート。柘植さんの下調べと感の良さで、駐車場から10分ほどの民家の脇の登山口もすぐみつける。靴がすぐに高下駄のようになってしまうベタベタ雪に苦労しながら登ると、すぐにマツタケ料理をだす秋だけの料亭小屋らしき建物が出てくる。よく見れば赤松だらけの山である。さもありなん。私は60年の生涯で、ただ一度だけ食べたマツタケの土瓶蒸しを思い出して、死ぬまであと1回食べたいと思いながら登る。どうせ里山となめて、アイゼンもつけずに登っていたら、頂上直下がえらい急登で、雪と雪の下の落ち葉に滑り、全員滑落しそうになり苦戦しだす。急登なので、アイゼンを今さらつけるわけにもいかず、柘植さんが見つけた山だからやっぱり普通の里山の訳ないかなどと女性陣が泣き言を言いだすと、柘植さんは里山バリエーションだと言う。里山バリエーションなんて言葉初めて聞いたよと皆大笑い。11時45分に何とか平な頂上に着き一安心。軽アイゼンをつけて、12時5分気をつけて下る。13時には駐車場に戻り、大湯共同浴場へ。150円で露天風呂もあり、女性は美人になるという素晴らしい湯である。

みんなが行きたかった飯山の高橋真由美人形館を見学し、駅前のスーパーで食材の買いだしをして、馬曲温泉梨の木荘へ向かう。暖かい炬燵で、鍋を肴に飲み、またまた大笑いの夜となる。



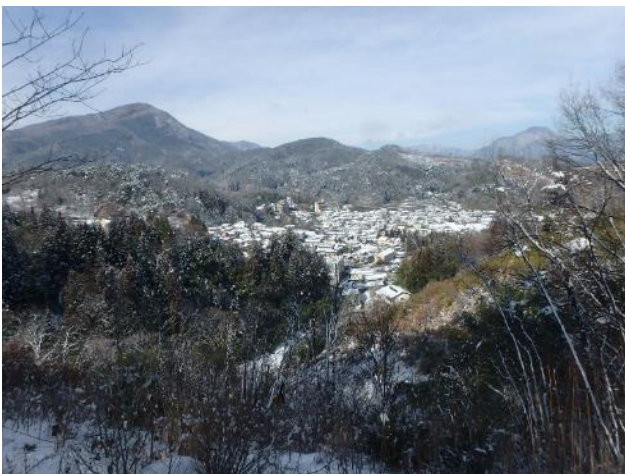
雪のない時期の信州塩田平の山々（左が今回登った女神岳）Web サイトから借用



別所温泉大湯駐車場から出発



快適な雪の尾根筋を登る



左：夫神岳 右奥：子檀嶺岳（こまゆみだけ）



マツタケ料亭小屋らしき建物



山頂直下は木につかまりながら登る



めでたく女神岳の山頂



高橋まゆみさん作品（たきび）人形館 Web サイトより



馬曲温泉梨の木荘で旧交を温める

○2 日目 飯綱町 鼻見城山



6時起床。今日も晴れた。朝風呂にゆったり入り、飯綱町にある苔翁寺を目指す。駐車場に車を止めさせてもらい、9時40分に山門とお墓の脇を登り始める。ここの雪は締まっていて歩きやすい。1度もアイゼンをつけることなく、10時50分鼻見城山頂上に着く。頂上直下に立派な井戸があり、ここが城跡であったことが分かる。春に来れば桜の綺麗な

城址公園といった風情。頂上から飯綱山、黒姫山など妙高、戸隠の山々が見渡せる。のんびりと休んでから 11 時 40 分には、周回ルートから苔翁寺に戻る。
サンクゼールワイナリー見学と小布施の道の駅に寄って昼食をとり、りんごを買い、小布施スマート I C から上信越道に入る。高速は渋滞もしておらず、17 時半には我が家に着いていた。2 日間のスノーハイクと観光の旅は、ちば山の会で出会った気心の知れあった古い仲間たちとのあつという間の楽しい時間だった。年を得たゆえの楽しみも悪くないかも。仲間たちに感謝の気持ちで一杯である。



苔翁寺の山門



今日も快晴



鼻見城山の山頂でくつろぐ



鼻見城山の山頂と小布施方面の景色



周回して隣の尾根を下山



Start/Goal の苔翁寺